

さいたま市の食育取組状況

令和5年度

(2023年4月～2024年3月)

さいたま市

<はじめに>

さいたま市では、市民が食育を通して、心と身体の健康を培い、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育むことを目指して、「第3次さいたま市食育推進計画」に基づき食育を推進しています。令和5年度は、“「三食しっかり」食べる”を重点目標とし、市民・民間団体・事業者・関係機関・行政等が、連携の強化を図りながら、食育を推進しました。

本冊子は、さいたま市における食育の取組の進行状況の確認、評価を行い、効果的な食育の推進を検討するため、令和5年度の「さいたま市健康づくり・食育推進協議会」及び「さいたま市さいたま市健康づくり推進会議」において取りまとめた資料をもとに作成しました。市民一人ひとりが、生きていく上で欠かせない大切な“食”について、正しい知識をもち、考え、実践し、伝えていけるよう、さいたま市の食育を推進していくための資料として、ご活用ください。

<冊子の見方>

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”(裏表紙うら参照)の各項目について、講話・実習・体験・啓発等を行った場合は ○

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”で ○をつけた項目について、市民がどう変化したか等、取り組んだ成果を記載

写真や資料を掲載

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など		
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績	○年度	成果	課題			
協働		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容				
協働	(新規)	朝食	食生活 バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理						

関係団体、地域・市民、行政等が、対等な立場で連携を図りながら協力して取り組んだ場合は ○

対象としたライフステージに ○

実施した内容を記載

改善すべき点、検討が必要な点等について記載
(終了となる事業については、その理由を記載)

<目次>

1 食育関係団体(さいたま市健康づくり・食育推進協議会委員)の食育取組状況	1
2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況	7
3 公民館の食育取組状況	集計中
4 市立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況	30

令和5年度 ヘルスプラン21(第2次)に関する事業の取組事例(さいたま市私立保育園協会)

事業名	重点目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進												
・「地場産物を用いた献立」「アレルギーフリーの献立」の調理講習会の開催 ・「離乳食の進め方」の講習会の開催	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標												
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり													
・地場産物を積極的に活用していく。 ・食物アレルギーについての正しい知識を習得し、保育所で正しく対応する力を身に付ける。同時に保護者支援も行っていく。 ・離乳食の正しい進め方を学び、乳児期の頃より食事の楽しさや一日3食バランスよく食べることの必要性を学び、継続して保護者支援を行っていく。		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物								
		(重朝点)	食生活	バランス	(重共食)	行事作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重協働)
		○	○	○		○	○						○	○
事業の対象者		単年度事業・継続事業												
さいたま市認可保育所栄養士・調理師・保育士 等		継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体														
さいたま市こども未来局子育て未来部保育課														
取組の内容														
新型コロナウイルスが5類に引き下がったため対面での講習会が再開となった。														
														
取組の成果														
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もさいたま市保育課と共催で講習会を開催することができた。 ・対面での講習会が再開となり、多くの職員に参加いただくことができた。 ・「離乳食の進め方」については、基礎的なことから保護者支援について学ぶことができた。保護者が負担にならないような言葉掛けの仕方や、3食しっかりと食べること(特に朝食の必要性)等について学び、継続して保護者支援を行うことができた。 ・調理講習会再開により地場産物(さいたま市産米)を取り入れて行うことができた。 														

事業名	重点目標	1 がんの予防と早期発見の推進 2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進 4 1日3食バランスのとれた食生活の推進												
市民公開講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標												
事業の目標														
科学的な根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通じて、県民の公衆衛生の向上に寄与する		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物								
		(重朝点)	食生活	バランス	(重共食)	行事作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	(重協働)
		○	○	○		○	○						○	○
事業の対象者		単年度事業・継続事業												
さいたま市民および埼玉県民		継続事業												
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体														
埼玉県栄養士会独自														
取組の内容														
浦和区を中心に開催(栄養士の事務局を会場とするため) 食事(栄養)の状要請を知ってもいいながら、身近なところで栄養相談などを気軽に聞ける場所を提供している。 ・栄養に関する講話30分程度 ・無料栄養相談 ・骨密度測定 など														
														
各回テーマ(予定含む)														
第1回 4月5日(水)認知症を予防しよう!(楽しく脳トレ)														
第2回 6月7日(水)食中毒に気をつけよう														
第3回 7月5日(水)熱中症にならないために														
第4回 8月5日(土)「栄養の日」のイベント														
第5回 9月6日(水)上手な食材のストック方法														
第6回 10月4日(水)腸内環境を整えて免疫力アップ														
第7回 11月1日(水)血糖値が高めの方のかたへ														
第8回 12月6日(水)上手なたんぱく質の摂り方														
第9回 2月7日(水)骨粗しょう症を予防しよう!														
第10回 3月6日(水)日本人のためのがん予防法														
取組の成果														
参加人数は5~15名程度 毎月参加されている方もいらっしゃる。サロンの役割も果たしている。														

事業名	重点目標	分野別の目標													
さいたま市健口教室	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上													
		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進													
事業の目標															
高齢期の栄養・口腔機能について知り、フレイル(虚弱)予防などについて学ぶ															
		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物									
		(重朝食)	食生活	バランス	(重共食)	行事作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	行事食	(重協働)
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>									<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
事業の対象者		単年度事業・継続事業													
さいたま市民		継続事業													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体															
さいたま市、埼玉県歯科衛生士会															
取組の内容															
さいたま市、埼玉県歯科衛生士会と連携し、1クール3回、2クール実施。介護予防のための食事・栄養についての講話。 (内容) 1.フレイルについて 2.フレイルを予防しましょう 3.低栄養を予防する食事のポイント 4.水分を上手に摂りましょう 5.おいしく減塩！ 6.口腔機能低下と栄養(食事) 7.簡単レシピで栄養アップ！															
															
取組の成果															
市内10区で開催 日ごろの健康と食事についての意識が高まったとの声が多く聞かれた。															

事業名	重点目標	分野別の目標													
(1)生活習慣改善・定着事業 (2)会員事業所向け健康診断の実施 (3)メンタルヘルス検定の実施	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進													
		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進													
事業の目標		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消													
(1)減塩・適塩の周知による市民のQOL向上 (2)会員事業所従業員の健康増進 (3)活力ある職場づくり、健康経営の実践支援、働く人の心身不調の未然防止															
		三食しっかり	いっしょに楽しく	確かな目をもって	まごころに感謝	食文化や地の物									
		(重朝食)	食生活	バランス	(重共食)	行事作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	行事食	(重協働)
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
事業の対象者		単年度事業・継続事業													
市民、会員事業所の従業員等		継続事業													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体															
(1)適塩・血圧対策推進協議会、協定締結先の大学、会員事業所 (2)浦和医師会、大宮クリニック、レインボークリニック、川口総合病院 (3)大阪商工会議所															
取組の内容															
(1)「ナト・カリ調味料」を使用した共同商品開発 ・会員事業所と人間科学総合大学との協同により「ナト・カリ調味料」を使用した適塩商品を開発し、販売した。 ・適塩の普及啓発を目的に適塩取扱店(サポーター)登録の拡大と紹介等を行っている。 ・地元の農作物を使用した適塩商品の開発と販売。 (2)会員事業所向け健康診断の実施 ・指定の健診機関で、一般的健康診断、生活習慣病健診、人間ドッグ、PET健診が受信できる (3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施 ・毎年3月と11月に試験を実施。 (4)健康経営に関する啓発活動 ・当所として健康経営優良法人の認定を受けている。 また、会員事業所に対して健康経営の実践に向けた普及・啓発活動を推進している。															
取組の成果															
(1)令和4年度の「ナト・カリ調味料」を活用した商品開発事業所3社、3商品の開発と販売。 (2)令和4年度の会員事業所向け ①健康診断255事業所、1338名 ②PET健診25事業所、74名 ③ストレスチェックサービス295名 (3)令和4年度のメンタルヘルス・マネジメント検定受験申込者数3750名															

事業名	重点目標	分野別の目標										
皆なのスポーツ・健康フェア	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進										
		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上										
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進										
		5 積極的な身体活動と運動習慣の形成										
健康づくりに自ら取り組む住民を増やして元気な地域にすることを旨とする。		三食しっかり										
		(重朝点食)	食生活	バランス	(重共点食)	行専作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業
事業の対象者	単年度事業・継続事業											
主に市内在住の子供から高齢者	継続事業											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体												
浦和駒場体育館、浦和区スポーツ振興会、浦和東部地区元気アップネットワーク、NPO法人Remind、福岡整形外科、埼玉県年金委員会、さいたま市ディスコン協会、よこかわ出張専門治療、埼玉市ソフトバレーボール連盟、埼玉県アメリカンフットボール協会、埼玉ライオンズ(車イス、バスケットボール)、領家1丁目自治会、領家1丁目太鼓保存会、南箇寿会												
取組の内容												
<p>日時: 令和5年8月27日 9時半から17時 場所: 浦和駒場体育館 内容 ・健康チェック・・・骨密度、体組成、握力、柔軟性など ・相談コーナー・・・運動、栄養、食事、リハビリ、口腔、年金など ・体験コーナー・・・スポーツ鬼ごっこ、ポッチャ・ディスコン、親子テニス交流、ヨガ、健康体操、スラックライン、キッズテニス、テニス交流会、ソフトバレー・フラバールバレー、フラッグフットボール、のびのび広場体験 ★車イスバスケットボール体験 ★大盆踊り大会 ★印1つと、他のプログラム1つ以上参加で飲み物+お菓子プレゼント</p> <p>令和5年11月26日にも今年度2回目を開催</p>												
取組の成果												
残暑が厳しい中、300名ほどの参加があった。領家1丁目自治会の協力が得られた。												

事業名	重点目標	分野別の目標										
月刊うらすば発行	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進										
事業の目標												
スポーツ・運動などをとおした健康・交流を促進するため、関連する情報を地域の方々に伝える。		三食しっかり										
		(重朝点食)	食生活	バランス	(重共点食)	行専作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業
事業の対象者	単年度事業・継続事業											
地域住民	継続事業											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体												
浦和東部地域元気アップネットワーク、スマイルハウス浦和、管理栄養士												
取組の内容												
<p>発行頻度: 毎月1回 発行部数: 1100部 仕様: A3両面カラー</p> <p>内容: ・浦和スポーツクラブが実施しているスポーツや運動プログラムのお知らせ ・管理栄養士によるアドバイス ・運動や健康に関する情報 ・元気アップサロンの開催予定と実施報告</p> <p>配布先: クラブ会員、周辺公共施設(公民館、体育館など)、協力事業所、元気アップサロン参加者</p>												
取組の成果												
定期的な配布により、クラブ主催のイベントやプログラム、元気アップサロンなどの認知の向上と参加者の増加につながっている。												

事業名	重点目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進													
1. 10区合同リーダー研修会、リーダー研修会、グループ伝達講習会 2. 委託事業(日本食生活協会、埼玉県、各区公民館) 3. 食育推進事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進													
		分野別の目標													
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	地域における食育推進の担いとして健全な食生活を実践伝達を実施する食育活動の輪を広げていく。													
		三食しっかり		いっしょに楽しく		確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物					
	(重朝食)	食生活	バランス	(重共食)	行事作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	郷土食	(重協働)	
	○	○	○	○		○	○		○		○	○		○	
事業の対象者	単年度事業・継続事業														
会員、市民(学童から高齢者)	継続事業														
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	さいたま市保健所地域保健支援課、さいたま市役所保健衛生総務課、各区保健センター、各区公民館														
取組の内容	<p>1 「食品衛生について」と食品衛生法に基づいてさいたま市保健所食品衛生課職員の講義、食中毒はどうして防げる?のと食中毒の事例を列挙、それについてどの様にしたら防げるか各予防と処置の方法、告知、食中毒予防3原則を「つけない・増やさない・やっつける」の正しい知識を身につけ、健やかな食生活を送りましょうと日々の予防厳守の大切さを受講。長寿のための食事学は高血圧予防や管理に栄養成分表示を活用し減塩に努め、外食中食の際はスマートミール(バランスのとれた食事「健康な食事、食環境」認証店舗があると伝え、外出の際は注視を伝えました。親子の食育、生活習慣病予防(高血圧予防、糖尿病予防、脂質異常症、フレイル予防)行事食について、レシピ、講義を会員に伝達できました。一部調理実習を再開しました。</p> <p>2 若者世代の教室では県立大宮高校生徒対象に、健康的な生活にはバランスのとれた生活習慣と食生活を心がけ、BMIで適正体重、肥満度チェックをし適正体重を維持しましょうと伝え、調理実習となりました。働き世代の教室は30代40代の参加もあり、バランス食の大切さを知り、今後食事、健康づくりの参考にしますと感想でした。夏休み子供クッキング2件、親子料理教室3件共に応募多数で、人数制限もあり、今後の課題。夏休み育ち盛りの子供のおやつ作り、子どもと共に話し合っコミュニケーションを深め、折々に一緒に作ります。また開催を要望がありました。生活習慣病予防のための食生活改善支援事業では課題多数順次進行し特定健診の必要性、メタボリックシンドロームの説明と係る予防については適正体重とBMI肥満度チェックをし適正体重維持にバランスガイドを活用してくださいと説明しました。また、献立の味噌汁を塩分測定器で測定。薄味を確認し6gの塩を表示、舌と目で塩分を確認してもらい、食材については一部地元農家さんより調達し地産地消に寄与できました。公民館文化祭は3館の協力でした。(おしるこ、甘酒、焼き芋、五目御飯の提供)</p> <p>3 生活習慣病予防教室:(高血圧予防3件(内1件は1月25日開催予定)バランス食(1月29日予定)) 高齢者食育:(フレイル予防2件(12月13日予定、1月24日予定)高血圧予防減塩では1日あたり食塩摂取量目標量は、男性7.5g未満、女性6.5g未満で世界保健機関(WHO)では5g目標です。現在は食塩摂取量の目標値には達していません。徐々に塩分使用量を減らし薄味に慣れて美味しく感じるようになりますと伝え、酸味や香味野菜を活用し減塩の献立に思いのほか減塩を感じずに食しましたと評価でした。</p>														
取組の成果	地域市民、会員の協力を得て、新型コロナウイルス感染防止に準じ事業を推進してきました。年間を通して食中毒多発の注意喚起で、食の安全安心を提起できた。委託事業多く生活習慣病予防の必要性について若者世代から高齢者世代までに適正体重を維持しましょう等々食を通しての健康づくりの輪を広げられた。														

事業名	重点目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上													
健口づくり交流会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進													
		分野別の目標													
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	高齢者にお口の健康に興味を持ってもらうこと													
		三食しっかり		いっしょに楽しく		確かな目をもって		まごころに感謝		食文化や地の物					
	(重朝食)	食生活	バランス	(重共食)	行事作法	食の安全	食品表示	食料備蓄	あいさつ	資源・環境	農林漁業	郷土料理	郷土食	(重協働)	
	○	○	○	○		○	○		○		○	○		○	
事業の対象者	単年度事業・継続事業														
健口教室の参加者	継続事業														
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	(公社)埼玉県歯科衛生士会 (公社)埼玉県栄養士会														
取組の内容	お口の健康体操などを実際に行い、自宅でも行えるように指導 お口の健康について歯科医師・歯科衛生士の講和、栄養について栄養士の講和を行います 参加者と歯科医師、歯科衛生士、栄養士7~8人ごとにグループになり交流会を行う。														
取組の成果	講和と体操の実演でお口の健康について興味をもっていただいた。また交流会では直接参加者から歯科医師、歯科衛生士、栄養士にお口や食事に関する質問があり、説明や指導など個別に行え参加者によく理解していただけました。														

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和5年度)				成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容											
生活衛生課	食の安全市民ネットワーク会議の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:食の安全・安心市民講習会の修了者 委嘱者数:73人 回数:2回	実施日:①令和5年8月16日②令和6年3月19日 場所:①大宮区役所②東京都薬用植物園 内容:①情報提供、活動報告、意見交換②施設見学	①17人②13人が参加した。	委嘱年数が長期化しているため、ネットワーク推進員の活動を内容を精査しその在り方を検討する必要がある。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○				
生活衛生課	食の安全フォーラムの開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:制限なし 定員:①50人②100人 回数:2回	実施日:①令和5年11月1日②令和6年3月12日 場所:①②浦和コミュニティセンター 内容:①知っておきたい食品表示と食品安全②輸入食品の安全性	①59人②47人が参加した。	参加者から食の安全に対する理解が深まったとの感想が得られたが、より幅広い年齢層の参加者を募るため、オンライン開催を検討する必要がある。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
生活衛生課	市民サロンの開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市内在住、在勤、在学中の方 定員:30人 回数:1回	実施日:令和6年1月26日 場所:埼玉会館 内容:知って美味しい!「街のお店の食品衛生」	24人が参加した。	身近な飲食店の衛生管理についてをテーマとして開催し、参加者から食の安全に対する理解が深まったとの感想が得られたが、より分かりやすい資料作りのため講師をサポートする必要がある。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
生活衛生課	夏の食中毒予防対策強化期間の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市民 内容:街頭キャンペーン、電子媒体を用いた食中毒予防キャンペーン、市報を通じた注意喚起、市内学校への啓発、食肉等の処理・販売・提供等を行う施設や高齢者、若齢者等の抵抗力の弱い者を対象とした食事を提供する施設の監視指導	実施日:令和5年7月～8月	電子媒体による啓発を行ったことにより、情報発信の効率化、活用の自由度も上昇、紙の削減につながった。	情報を発信するだけでなく、発信した結果どのような効果が得られたかということも視野に入れて実施していく必要がある。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
生活衛生課	冬の食の安全注意報事業の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市民 内容:街頭キャンペーン、電子媒体を用いた食中毒予防キャンペーン、市報を通じた注意喚起、市内学校への啓発、社会福祉施設等を所管する庁内関係部署への周知	実施日:令和5年11月～12月	電子媒体による啓発を行ったことにより、情報発信の効率化、活用の自由度も上昇、紙の削減につながった。	情報を発信するだけでなく、発信した結果どのような効果が得られたかということも視野に入れて実施していく必要がある。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
生活衛生課	食の安全委員会、食の安全対策会議の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	【食の安全委員会】 参加者:委員を委嘱された方 人数:13人 回数:4回 【食の安全対策会議】(書面開催) 参加者:庁内関係課所長 人数:10人 回数:3回	【食の安全委員会】 実施日:①令和5年5月16日②令和5年7月25日③令和5年11月10日④令和6年1月31日 場所:①④大宮区役所②(株)河村屋 大宮本店③埼玉会館 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について 【食の安全対策会議】(書面開催) 実施日:①令和5年4月27日②令和5年10月13日③令和6年1月18日 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプランについて、食品衛生監視指導計画について	市民の食の安全確保に向けて、食の安全に関する情報共有や意見交換を行い、食の安全基本方針アクションプランや食品衛生監視指導計画に反映した。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、活発な意見交換を行い、施策に反映していく。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do				Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)				成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
生活衛生課	食の安全基本方針アクションプラン、食品衛生監視指導計画の策定	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市民	【食の安全基本方針アクションプラン】 令和5年度アクションプランを6月に策定した。 令和6年度アクションプラン(素案)の令和6年度目標の作成。 【食品衛生監視指導計画】 令和6年度年度計画(案)について12月1日から12月28日まで意見募集を実施。 御意見を踏まえた上で、3月に計画を策定。	食の安全委員会、食の安全対策会議及び意見募集で得られた意見を反映し、策定することができた。	今後も国や他の自治体の動向を注視しながら、策定を進めていく。	
生活衛生課	ホームページ、食育及びSNSを利用した市民への情報提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市民	実施日:随時 内容:食の安全に関するお知らせや、食品衛生監視指導計画に基づく監視状況等を掲載。	遅滞なく掲載できた。	今後も継続して情報を掲載していく。 ホームページの整理を行う必要がある。	
いきいき長寿推進課	健口教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市内在住で、65歳以上の方 実施回数:区ごとに年2コース、1コース3日間開催 参加者:307人	実施日:区ごとに会場及び日時を設定 場所:公民館等 内容:高齢期の栄養や口腔機能、フレイル予防などを、全3回の教室で学びます。 講師:埼玉県栄養士会等から派遣	栄養士による高齢期の食生活やオーラルフレイルに関する講義に加え、食事バランスシートのチェックとフィードバックを行う個別支援も含めた教室を実施した。	参加者からは講座内容に一定の満足度を回答いただいている。他方で、高齢者のみの世帯や単身世帯が増えていることもあり、単身高齢者向け料理の具体的な調理方法やレシピ等を知りたいとの要望もある。引き続き参加者の声も参考にしながら、講座の充実を図っていく必要がある。	
地域保健支援課	健康づくり協力店普及促進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:健康づくり協力店指定店舗98店舗	実施日:通年 場所:さいたま市内 内容:新規指定、指定店舗巡回、状況確認アンケート、ポスター作成、市ウェブサイト・ポスターによる情報発信等	・指定店舗が3店舗増加(新規指定7店舗、辞退4店舗)し、市民に健康情報を発信することが出来た。 ・健康づくり協力店を紹介するポスターを作成し、各区保健センターに掲示した。 ・市ウェブサイトとポスターを通して本事業を広く周知したことで、指定店舗のPRにつながった。	・指定店舗がバランスメニューの提供や健康情報の発信を適切に実施できるよう支援する必要がある。 ・健康づくり協力店を利用する市民を増やすため、健康づくり協力店のPRを引き続き行う必要がある。 ・市民の健康づくりのための食環境を整備するため、指定店舗数を増やす必要がある。	
子育て支援課	食育に関する情報の配布、掲示の協力	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	のびのびルーム利用者	実施日:不定期 場所:各のびのびルーム 内容:食育に関する情報の配布、掲示	例年は離乳食や幼児向けの食育に関する冊子やチラシの配布、ポスター等の掲示の依頼があった際に、0~2歳児までの親子が利用する「単独型子育て支援センター」や「のびのびルーム」で配布・掲示協力していたが、令和5年度は依頼が無かったため、掲示等の協力は行わなかった。	放課後児童クラブの空き時間を開放するという事業の性質上、ポスター等の掲示については難しい場合がある。	
子育て支援課	単独型子育て支援センターでの食育に関する事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	単独型子育て支援センター利用者	実施日:不定期 場所:各子育て支援センター 内容:離乳食教室、ブルーベリー摘み、じゃがいも掘り、里芋掘りなど各支援センターで内容を決定し実施	・単独型子育て支援センター10か所すべてで、育児相談(食事・栄養に関する相談を含む)を実施した。 ・食への関心を高める体験をする機会を設けることができた。	畑を持つなど、それぞれの支援センターの特徴を生かした講座やイベントを引き続き実施する。	

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和5年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容															
子ども・青少年育成課 (集計中)	さるはなキャン プフェスタ・ 親子のつどい	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+					
協働 ○	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	○	○	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	三橋児童セ ンター「離乳食講 座」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+					
協働 ○	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	植竹児童セ ンター「栄養士によ る離乳食講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+					
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	天沼児童セ ンター「管理栄養士 講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+					
協働 ○	(継続)	○	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	天沼児童セ ンター「やきいも パーティー」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+					
協働 ○	(継続)	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
子ども・青少年育成課 (集計中)	天沼児童セ ンター「みんなで クッキング」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+					
協働 —	(継続)	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)		成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容														
子ども・青少年育成課 (集計中)	【片柳児童センター】 デイキャンプ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+				
協働—	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—				
子ども・青少年育成課 (集計中)	【片柳児童センター】 ティーンズクッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+				
協働—	(新規)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—				
子ども・青少年育成課 (集計中)	【片柳児童センター】 クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+				
協働—	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—				
子ども・青少年育成課 (集計中)	【春野児童センター】 離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+				
協働○	(継続)	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—				
子ども・青少年育成課 (集計中)	【春野児童センター】 食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+				
協働○	(継続)	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—				
子ども・青少年育成課 (集計中)	【馬宮児童センター】 離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+				
協働○	(継続)	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—				

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do					Check		取組の様子など				
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)					成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容															
子ども・青少年育成課 (集計中)	【馬宮児童センター】野菜を育てて収穫しよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【馬宮児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	○	○	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【文蔵児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(継続)	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【文蔵児童センター】楽しくつくろう～クッキング～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(継続)	—	○	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【浦和別所児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(継続)	—	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【浦和別所児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(終了)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

		Plan											Do		Check		取組の様子など							
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実績 (令和5年度) 実施日、場所、内容	成果	課題			
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+								
子ども・青少年育成課 (集計中)	【与野本町児童センター】 離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【与野本町・向原・大戸・大久保東児童センター】 中央区・桜区合同 中高生料理教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【向原児童センター】 親子であそぼう0才「食育講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(継続)	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	○					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【与野本町児童センター・向原児童センター・大戸児童センター合同】 おいもほりに行こう!	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【向原児童センター】 おいもほりに行こう!	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(新規)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【大戸児童センター】 ハイハイサロン「離乳食講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働	(継続)	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)		対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+											
子ども・青少年育成課 (集計中)	【大久保東児童センター】 栄養士による講話	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+					
協働 —	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【大久保東児童センター】 中高生の卒業を祝う会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+					
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【岩槻児童センター】 わくわくクッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+					
協働 ○	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【岩槻児童センター】 土曜クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+					
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【岩槻児童センター】 こどもかふえ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+					
協働 —	(継続)	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【岩槻児童センター】 デイキャンプ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年期 16-24歳	成 人期 25-39歳	壮 年期 40-64歳	高 齢期 65歳+					
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do					Check		取組の様子など				
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)					成果	課題					
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容															
子ども・青少年育成課 (集計中)	【岩槻児童センター】中高生クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(継続)	—	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【仲本児童センター】仲本ファームプチトマト栽培	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【仲本児童センター】食育あそび	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○	○	○					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【仲本児童センター】学生ボランティア食育あそび	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(継続)	—	○	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	○	○	○					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【尾間木児童センター】アグリ講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【尾間木児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働○	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do				Check		取組の様子など					
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)				成果	課題						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容															
子ども・青少年育成課 (集計中)	【尾間木児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働 ○	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【尾間木児童センター】食育のおはなし	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働 —	(継続)	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
子ども・青少年育成課 (集計中)	【尾間木児童センター】食育コーナー	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+					
協働 —	(新規)	○	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
保育課	保育園での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:公立保育園に通う児童、その保護者 実施回数:85事例	場所:各公立保育園 内容: ・公立保育園が食育年間計画を作成し、保育士等が実施した食育が60事例。保育課栄養士が公立保育園に出向いて実施した園児向けの食育が25事例。 ・給食で提供している献立のレシピを作成し、配布。(行事食等のレシピ24種類)	各園で作成した食育年間計画を基に、子どもの月齢や発達に応じた食育を実践することができた。 また、保護者向けに作成した給食の人気レシピを配布を行い、家庭の食に対する興味関心を高めることができた。	園児向けの食育に比べて、保護者向けの食育の機会が少ないため、検討が必要。	 保育課栄養士による保育園での食育の様子 (さいたま市西堀保育園)
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
保育課	食だよりの発行	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:公立保育園の保護者、食育なびの閲覧者 実施回数:年3回発行	場所:公立保育園へ通う児童の保護者へ配布、食育なびへ掲載 内容:季節ごとの食に関する情報発信、栄養・食育・衛生についての情報発信等	保育課栄養士より、公立保育園の保護者へ食に関する様々な情報を発信することができた。 また、食育なびへ掲載することでより広く発信することが期待できる。	保育課栄養士が主導となり発信する内容を決めているが、保育園や保護者の知りたい内容を発信できるとよい。	令和5年度に発行した食だよりの内容 ・春号:公立保育園の給食、食育、旬の食材と行事食の紹介 ・臨時号:食中毒予防、手洗いの仕方について ・夏号:家庭でできる脱水症予防、夏におすすめのレシピの紹介
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
保育課	公立保育園併設型子育て支援センター(4園)および子育て談話室での食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施回数:2事例	場所:公立保育園併設型支援センター(大砂土保育園、西町保育園) 内容:乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	公立保育園の給食を媒体に、食に関する情報を発信することができた。1回あたりの参加数を少なくし、1人1人の栄養相談の時間をしっかり設けることができた。	併設型支援センターの縮小により、情報の発信及び相談の方法について検討が必要。	 子育て支援センターでの食育の様子
協働 —	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

		Plan										Do			Check		取組の様子など							
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					対象、実施回数・参加者数等	実績 (令和5年度) 実施日、場所、内容	成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青年 期 16-24歳	成人 期 25-39歳	壮年 期 40-64歳					高 齢期 65歳+								
保育課 協働—	食育なびにて保育施設における食育活動の発信 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:市内の保育施設、食育なびの閲覧者 実施回数:6事例	場所:食育なび上へ掲載 内容:市内の保育施設で行っている食育の取組の紹介	公立・民間保育園での取り組みを食育なびで積極的に発信した。これにより、保護者を始めとして、園で行っている食育活動の発信・共有ができた。	今後も継続して発信していく。	 「食育集会～お酢のチカラ～」を行いました！ (さいたま市立原山保育園)
保育課 協働—	食育なびにて保育施設における給食献立の発信 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:食育なびの閲覧者 実施回数:1事例	場所:食育なび上へ掲載 内容:市内の保育施設で提供している給食献立レシピの紹介	食育なびで発信することにより、保護者を始めとして、保育施設の人気メニューなどを発信することができた。	今後も継続して発信していく。	 魚の南蛮漬け
保育課 協働—	食物アレルギー研修会及び講演会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	○エビイベント研修 実施回数:5回 対象:市内保育施設の職員 ○食物アレルギー講演会、研修会 対象:市内保育施設の職員、保護者、市民 参加者数:計377名	○エビイベント研修会 場所:アナフ(ラキシール)やエビイベントが在園している保育施設 内容:アレルギー対応についての講話、エビイベント使用法のデモンストラーション ○食物アレルギー講演会、研修会 実施日:①11月26日(日)②12月15日(金) 場所:①レイボックホール小ホール②浦和コムナール 内容:「食べて治す!子どもの食物アレルギー」研修 (講師:さいたま市民医療センター 小児科 診療部長 西本 前氏)	エビイベント研修会は、食物アレルギーについての講話とエビイベント使用時の流れを確認することで、基本的な知識の習得を図ることができた。また、市民公開講座として実施した講演会と、保育施設職員を対象とした研修会をそれぞれ開催することで参加者の理解度に合わせた情報の発信ができた。	エビイベントを預かっている保育施設に対し十分に研修を実施するために、エビイベントの開催頻度の増加が必要。	 アレルギー研修会(12/15)の様子 (期限切れのエビイベントを使った実演)
資源循環政策課 協働○	九都県市首脳会農産物問題検討委員会3R普及促進事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:九都県市内域内住民	実施日:令和5年4月～ 場所:九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市)域内 内容:食品ロス削減を含む省資源化を行う企業を支援する、「チャレンジ省資源宣言」を実施。ホームページで企業の取組等を紹介している。また、令和5年10月から11月まで宣言企業の商品が当たるキャンペーンを実施。そのほか、令和5年10月の食品ロス削減月間に合わせ、ラジオCMにて広く周知するためFM Nack5で放送し、広報を実施。	例年普及啓発活動を行っていたイベントが減少している中、ラジオCMにより普段食品ロス削減について意識の低い若年層や、日中に運転など仕事や移動でラジオを聴いている市民をターゲットに広く周知することができた。	対面でのイベントが再開しつつあるため、より現状に即して効果的なPRの方法をさらに工夫していく必要がある。	
資源循環政策課 協働○	Saitama Sunday Soup (あまった食材、スープにしちゃおう!日曜日は食べつくスープ!) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+		実施日:令和5年4月～ 内容:食品ロス削減を呼びかけるため、パンフレット・動画を渡し食品ロス削減につながる「買い方」と「冷蔵庫整理術」を紹介したほか、あまった食材は日曜日にスープにして食べつくそう、ということも、レシピとともに提案している。インスタグラムなどにもレシピを掲載中。そのほか、令和5年4月から5月に連携企業の商品が当たるプレゼントキャンペーンをインスタグラムにて実施した。	パンフレットはイベント等で配布するほか各区の情報公開コーナーにも配置しており、おおむね好評を得ている。またインスタグラム等を活用することで双方向での啓発活動を行うことができた。プレゼントキャンペーンでは多くの方が参加し、フォロワー数は130アップした。	インスタグラムでは市民等から投稿のあったレシピも掲載している。さらなる投稿増加のためにも、いっそうのPRが必要である。	
資源循環政策課 協働○	チームEat All (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+		実施日:令和5年4月～ 内容:食減ロス削減に取り組む企業と市が協働で食品ロス削減を推進するチームを結成。市では企業の取組の紹介等を実施。令和5年4月に開催されたさいたま市民フェアでは、チームEat All参加事業者と連携し規格外野菜を使用したペーゲルを販売した。食品小売事業者との連携では、棚の手前から商品をとる「てまえどり」のポップを作成し、各店舗で掲示した。	令和6年3月末現在で40の事業者が参加。市ホームページを通じ、広く市民に周知している。	事業者の取組についてより多くの市民に周知できるよう、PRを強化していく必要がある。	

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和5年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
10区保健センター協力事業	若い世代を中心とした啓発	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:食育なび等の閲覧者	若い世代に向けた啓発資料(時短レシピ、組み合わせ例等)を作成し、食育なび、市のホームページ(リンク)、市報(区報)、SNS等で情報発信する。	工程が少なく、野菜摂取のできるレシピを3種作成した。若い世代の目に留まるよう若い職員や学生の意見を取り入れ、画像を多く使用、一部動画を作成した。3月に食育なびへレシピ掲載。他部署所属の栄養士へ情報提供をする。	今後、広報媒体や時期による閲覧数の推移を確認し、効果的な啓発媒体を検討する。他所属栄養士へのアンケート結果から、使用場面や対象について見直しを図る。	
協働—	(新規)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
10区保健センター協力事業	ヘルスマイトを通じた情報発信	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:市民	ヘルスマイトが正しい食に関する情報発信を行うことができるよう、テーマに合わせたリーフレット、シナリオ、講義手順、アンケートのパッケージを作成する。各支店リーダー研修にてパッケージの活用研修及びフォローアップ研修を行う。	今年度テーマを「フレイル予防の食事」とし、パッケージを作成。4支部(浦和・大宮・中央・岩槻)においてパッケージの活用研修を実施したことで、ヘルスマイトのパッケージに対する理解を深めることができた。	次年度以降、ヘルスマイトがパッケージを用いて市民へ情報発信できるように、各区において情報発信の機会を確保する必要がある。また、市民やヘルスマイトに対してアンケートを実施し、適宜パッケージ内容の見直しを図る。	
協働○	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○					
保健センター共通事業	食生活改善推進員の育成	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:食生活改善推進員 実施回数:集計中	実施日:区毎に設定 場所:各区保健センター等 内容:各区の状況に応じた、食生活改善推進員の育成。	食生活改善推進員が、地域で食を通じた健康づくり活動を進められるように、各区の状況に合わせた支援(研修会の開催や活動へのアドバイス等)を実施した。調理実習も一部再開した。	食生活改善推進員が地域での健康づくりを推進する担い手として活動するために、地域の健康課題を共有し、各団体や組織等との橋渡しをする等、必要な支援を行う。会員数の維持を目指す。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	○	○	○					
保健センター共通事業	特定保健指導	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:積極的支援対象者 回数等は区によって異なる。	実施日:区によって異なる 場所:各区保健センター 内容:前年度と同様	実績評価時の栄養・食生活の状況は、8割以上が改善していた。身体活動の改善の有無に関わらず、栄養・食生活の改善のあった者の方が、体重・腹囲の減少者の割合が高かったことから、栄養・食生活を中心とした支援は効果的であると考えられる。	次年度より計画が変更され、アウトカム評価が導入される。それに伴い、より効果的な保健指導が求められるため、新たな支援媒体の導入や支援者のスキルアップが求められると考える。	
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—					
保健センター共通事業	地区依頼教育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	区の状況に合わせて、見直しを行う。	実施日・場所・内容:各区の状況に合わせて実施	各区において実績評価、改善をしている。	さいたま市健康づくり計画(第4次さいたま市食育推進計画)の推進を図る。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
保健センター共通事業	離乳食教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:4~5か月児の保護者 実施回数:155回 参加人数:3644人	実施日:区の状況に合わせて実施 場所:各区役所保健センター 内容:離乳食の進め方の講義と形状見本の提示等	安心して離乳食をすすめられるよう、形状見本の提示等を交えて教室を実施。	各区の状況に合わせて内容や定員を見直しながら実施。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和5年度)											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題								
保健センター 共通事業	出産前教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:主に初妊婦とその夫やパートナー等回数等は区によって異なる。	区の実情や特性に合わせて企画した内容で実施。教室名称や実施日、実施回数は区によって異なる。妊婦へ妊娠中の食事のポイントや留意点についての講義を実施。	妊娠中の食生活について講義を実施。妊娠、出産が家族で健康な食生活を営む機会になるよう適塩についての啓発を実施。	各区の状況に合わせて内容や定員を見直しながら実施。	
協働 —	(継続)	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—						
西区保健センター	幼児食教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:1歳6か月以上3歳未満の児の保護者 2回開催 ①10人 ②7人	実施日:①7月5日(水)、②12月21日(木) 場所:①植水児童センター、②西区役所保健センター 内容:幼児期の食生活について、おやつとむし歯予防のポイント	・令和5年度は植水児童センターとの共催方式で開催。 ・植水児童センターの場所は保健センターと距離が離れていることから普段保健センターを利用したことがない方の参加につながった。	・本教室は今年度で3年目であるが、申込数が定員に満たなかったため、実施方法等について再検討が必要である。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	○	—	—	○	○	—	—	—	—	○					
西区保健センター	健康!ほっとステーション	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:区役所来庁者	前年度と同様	・令和5年度から情報発信の方法を掲示方式からモニターを活用したデジタル方式に変更。保健センター利用者の他、区役所来庁者も気軽に足を止めて掲示を見ている方が多数見受けられた。	・時宜にかなったテーマや区民に関心を持っていたようなテーマを設定する必要がある。	
協働 —	(継続)	○	○	○	○	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
西区保健センター	ちょっと血糖値が気になる方の健康塾〜かしこく減らす3つのヒント〜	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:18歳～74歳の市民 1回開催 7人	日程:11月14日(火) 場所:西区役所保健センター 内容:健康に関する講義、体脂肪・体組成測定	・アンケート結果より、「教室の内容が生活習慣を見直すきっかけになった」と回答した者の割合が100%であったことから次年度の企画の参考としたい。	・参加者の教室参加後の行動変容状況について把握する必要がある。	
協働 —	(継続)	—	○	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○					
北区役所保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:北区役所来庁者	【階段クイズ】 実施日:①7月②9月③12月④3月 場所:北区役所東側階段 内容:①朝食②減塩③野菜摂取④バランスの良い食事の各テーマに関するクイズの問題・解答の掲示、関連するリーフレットの配置 【3階エレベーターホール掲示】 実施日:6月、10月 場所:北区役所3階東側エレベーターホール 内容:食育および朝食についての啓発掲示、リーフレットの配置	利用している市民に対し、食の情報を発信することで健康に対する意識を高めるきっかけづくりを行うことが出来た。クイズの内容については野菜の目安量など具体的な内容とすることで通りすがりでも情報を得やすいようにした。	引き続き幅広い世代の区民に対して食育推進を目的とした普及啓発を実施する必要がある。さいたま市健康づくり計画に則って啓発内容の見直しを行う。	
協働 —	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
北区役所保健センター	けんこうギャラリー	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:プラザノース来場者 回数:1回	実施日:令和5年9月1日(金)～9月5日(火) 場所:プラザノース1階 アトリウム(1階総合インフォメーション案内付近) 内容:健康に関する展示を通じて、生活習慣病予防の啓発をする(糖尿病予防の食事、朝ごはんの必要性等)	昨年度はコロナ禍であり感染症の啓発を実施したが、今年度は新型コロナウイルスが5類に移行したため、感染症ではなく防災にフォーカスを充てて啓発したため、災害備蓄についても啓発する機会となった。介護高齢課にも声をかけ、協働で幅広い世代に興味を持ってもらえるよう工夫して啓発した。	引き続き幅広い世代の区民に対して食育推進を目的とした普及啓発を実施する必要がある。さいたま市健康づくり計画に則って啓発内容の見直しを行う。	
協働 ○	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ		実績 (令和5年度)										
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳		高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題			
見沼区保健センター	きらきら☆おやこキッチン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住の小学1～4年生の児童と保護者 参加者:7組15名	実施日:令和5年10月28日(土) 場所:見沼区役所保健センター 内容:野菜摂取に関する講話、野菜クイズ、地元農家へのインタビュー、地元野菜をつかったレシピ紹介、試食	保護者の満足度は1名未回答だったもののその他全員が満足という評価であった。自由記載には、「親子ともに「野菜の大切さがわかった」という旨の感想が多くみられ、野菜摂取の重要性等の意識を高めることができた」と考える。	今年度で終了 (次年度は、事業名称や内容を変更し、乳幼児とその保護者を対象にした食に関する教室を開催する予定)	
見沼区保健センター	食べたい人のヘルシーレッスン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住の30～74歳以下の方・特定保健指導「積極的支援」の方 参加者数: 14名(1日目) 13名(2日目)	実施日:令和5年1月26日(金)、2月2日(金) 場所:見沼区役所保健センター 内容:糖尿病予防に関する講義(保健師、管理栄養士、歯科衛生士)、運動講義・実技、体組成測定	アンケート結果より、糖尿病予防の必要性を理解した割合は、100%であり、改善しようと思うことは食事、運動、口腔ケアの順で多かった。体組成測定、講義、実技を合わせて実施したことで、自身の生活習慣を振り返り実践するきっかけになったと考えられ	今年度で終了 (次年度は、高血圧予防をテーマに事業名称や内容を変更し教室を開催する予定)	
見沼区保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:見沼区役所来所者	実施日:通年 場所:見沼区役所ロビー・保健センター前 内容:6月の食育月間、10月の朝ごはんを食べよう強化月間を始め、月ごとにテーマを決め、食に関する情報を掲示し、パンフレットを配布。	テーマに合わせたレシピを配布することで、手に取りやすい食づくりの参考になったと考える。6・9・10月で約100部配布することができた。	今後も対象者の反応をとりながら、区民に広く啓発できるよう工夫をしていく。	
中央区役所保健センター	夏休み特別企画 野菜塾	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:市内在住の小学生と保護者 定員12組 実施回数:1回 参加者:12組	実施日:令和5年7月30日(日) 場所:中央区役所保健センター 内容:野菜について知ろう(実験) 朝食について(講義)	アンケート結果より、小学生については、「野菜や三食しっかり食べる大切さ」について「わかった」「少しわかった」と回答した者が100%であり、「野菜について知ることができた」「野菜が好きになった」等の回答が得られた。また、保護者については、教室	正しい栄養・食生活の知識を身に付けるため、こどもや特に若い世代へのアプローチが必要である。現在、事業は実施しているが内容は単年度の開催となっているため、継続的に実施可能な方法や参加者の増加等の検討が必要である。	
中央区役所保健センター	健康長寿の心得	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:市内在住の18～74歳の方 定員17人 実施回数:1回 参加者:17人	実施日:令和5年10月4日(水) 場所:中央区役所保健センター 内容:筋トレ入門編(運動) 糖尿病について(講義) 体組成測定 血管年齢測定	糖尿病について保健師、歯科衛生士、管理栄養士から講義を行い、運動指導士により運動実技の指導を行った。アンケート結果より、17人中、12人の参加者が教室に参加し「食生活について改善しようと思った」と回答した。	生活習慣病の発生予防と重症化予防のために幅広い世代の参加が必要である。 ①広報等の周知方法の検討 ②体組成測定や血管年齢測定など可視化できるツールを用い、参加者が自分の体の状態を把握でき、参加することでメリットを感じられる内容	
桜区保健センター	さくらカレッジ～糖尿病予防教室～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:18～74歳の市民 参加者数:各5名	2日間1コース 実施日:①12月1日(金)②12月8日(金) 場所:桜区役所大会議室 内容:①保健師講義「糖尿病の基礎知識」歯科医師講義「糖尿病と歯周病の関係」、管理栄養士講義「糖尿病予防の食事」 ②血管年齢測定、推定野菜摂取量測定、保健師講義「運動の効果」管理栄養士講義「間食、飲酒」、運動実技	糖尿病と診断されている人や予備軍と言われている人の参加があり、重症化予防につながる知識の普及が実施できた。	教室の参加者が終了後も継続的に健康づくりに取り組めるように、地域の社会資源につなげるような仕組みを検討していく。	

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」										実績 (令和5年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容															
桜区 保健センター	MIA♪ (みんなで一緒に歩こう会)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:さいたま市民(のびのびウォーキングイベントリー者) 参加者数:5名	日程:1月30日(火) 場所:桜区役所保健センター 内容:管理栄養士講義「朝ごはんについて」、保健師講義「健康マイレージの活用について」、歯科衛生士による「災害時の口腔ケアについて」、座談会	参加者のアンケート結果より、教室の満足度は100%であった。自由記載では「運動時間を多くしてほしい。」「リンパ体操をしたい。」など実践を求める声が多い。	地域での健康づくりを踏まえた仲間づくりの支援の機会を通して、食についてもライフステージの課題にあわせて啓発していく。	
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
桜区 保健センター	YOGA～親子で一緒に健康体操～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:乳幼児とその保護者、家族 参加者数:4組8名	実施日:2月27日(火) 場所:桜区保健センター 内容:体組成測定、乳ガン自己触診体験、管理栄養士講義「女性の不足しがちな栄養素について」、運動実技	参加者全員が教室での講義内容や運動について、家庭でも実施しようと思うと回答。子どもと一緒に参加できる教室の開催により、20代～40代の健康づくりへの無関心層にも直接啓発できる機会となった。	子育て世代は子どもの食事や栄養のことには関心が高いが、自身の食生活や健康には無関心な人が多い印象がある。保護者自身の実践にもつながるような内容で講義等を行っていく必要がある。	
協働—	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
桜区 保健センター	乳幼児とパパママの防災講座～家族で生き抜く～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:乳幼児とその保護者、家族 参加者数:38名	実施日:3月2日(土) 場所:桜区保健センター 内容:防災士による講義、桜区総務課による講義「桜区の災害特性、ハザードマップ」、管理栄養士による講義「災害時の食の備えについて」	ヘルスプラン最終評価で防災や備蓄についての意識が低いことがわかり、総務課と共催で実施。桜区の災害特性や広域避難についての意識付けのともに平常時からの備えについても啓発を行うことができた。定員を上回る申込があった。	防災をテーマに教室を開催する際には保健センター単独よりも総務課と共催で行う方が教育や啓発の効果が高いと考える。	
協働—	(新規)	○	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
浦和区 保健センター	夏休み親子防災教室～バッククッキングを体験しよう～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:区内在住の小学生とその保護者 実施回数:1回 参加者数:12組27人	実施日:令和5年8月5日(土) 場所:浦和区役所保健センター 内容:災害のお話・体験、バッククッキング	アンケート結果より、全員から「バッククッキングや食事のバランスについて(やや)理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了(令和6年度は、事業名称や内容を変更し、親子食育教室を開催予定のため)	
協働○	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
浦和区 保健センター	血糖値が気になる方のヘルシーレッスン♪	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内在住の18歳以上の方 実施回数:1回 参加者数:15人	実施日:令和5年10月11日(水) 場所:浦和区役所保健センター 内容:体組成測定、保健師・管理栄養士・歯科衛生士によるミニ講義	アンケート結果より、全員から「生活習慣改善の必要性を(やや)理解できた」との回答が得られた。	今年度で終了(令和6年度は、事業名称や内容を変更し、生活習慣病予防教室を開催予定のため)	
協働—	(新規)	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
浦和区 保健センター	健康スポットでの普及啓発	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:浦和区役所及び保健センター来庁者	実施日:令和5年6月、10月 場所:浦和区役所健康スポット、保健センター健康スポット 内容:6月「食育月間」に関する掲示とリーフレットの配布、10月「朝ごはんを食べよう強化月間」に関する掲示とリーフレットの配布	毎月テーマに沿った啓発セットを作成し、ひと月あたり400セット程度を配布することができた。区役所と保健センターの2カ所へ健康スポットを設置していることで、より幅広い対象者への啓発を行うことができたと考える。	引き続き、来庁者の目を引く展示内容や啓発セットを検討・作成していく。	
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○					
南区 保健センター	親子で学ぶBOU炎～バッククッキング～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:南区在住の小学生とその保護者 7組14人	実施日:令和5年8月9日(水) 場所:南区役所保健センター 内容:①管理栄養士によるバッククッキングについての講義②調理デモ・試食、栄養についての講義③歯科衛生士・保健師による講義④体組成測定	保護者にとったアンケートでは、全員から「生活習慣を振り返るきっかけになった」「災害時の備えについて見直すきっかけになった」との回答を得た。教室の内容についても全員から「理解できた」との回答を得た。参加者が健康について意識するきっかけとなったと考えられる。	参加者が教室で学んだことを周りに伝えていくように促す方法を検討していく。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和5年度)							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳		高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題			
緑区保健センター	シン・サバイバルクッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:緑区在住の小学3年生以上とその保護者 実施回数:1回 参加者数:6組	日程:8月3日(木) 場所:緑区保健センター(ZOOM) 内容:オンラインで、災害時における健康維持対策を学ぶことを通し、日ごろの生活習慣を振り返り、見直すきっかけとする	ZOOMを使用した教室を行った。アンケート結果より、教室の理解度は高く、親子で防災に関心が深まるともよい機会となった等の意見があった。今後も全員がオンライン希望であった。	引き続きZOOMを使用した教室を検討する。	
緑区保健センター	はじめの一步!引き締めBODYプログラム教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:緑区在住の18～64歳 実施回数:2回 参加者数:①6人 ②6人	実施日:①令和5年6月17日(土)ZOOM ②令和5年9月22日(金)アーカイブ配信 場所:緑区保健センター 内容:保健師講義「身を引き締める運動習慣」 運動講義・実技「お腹周りの筋肉を使うエクササイズ」 栄養士講義「バランスの良い食事」 9月分は運動のみアーカイブ配信	ZOOMを使用した教室を行った。アンケート結果より、教室の満足度・理解度が高く、参加者は手軽に参加できるオンラインを今後も希望であった。	引き続きZOOMを使用した教室を検討する。	
緑区保健センター	家族みんなでいただきマウス教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:緑区在住の0歳児とその保護者 実施回数:1回 参加者数:9組	日程:2月14日(水) 場所:緑区保健センター 内容:歯科医師による保護者の口腔チェック 歯科衛生士講義「口腔ケア」、 栄養士講義「とりわけ離乳食」、調理見本提示、試食	アンケート結果より、保護者の口腔ケアについて理解度が高かった。また、紹介した献立やとりわけ離乳食について作ることができると思ったと回答した者はほとんどであった。	引き続き、家族で食事と口腔ケアを学ぶ教室を検討する。	
緑区保健センター	緑区民まつり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:緑区民まつりの来場者 実施回数:1回 食育コーナー623人	実施日:10月29日(土) 場所:緑区民まつり会場(埼玉スタジアム2002南側) 内容:区民まつり会場のびのび広場にて、食生活改善推進員緑区会員が中心の食育コーナーで、子供向けの「お豆のクイズ」と「野菜1日摂取量」啓発、リーフレット配布	食生活改善推進員緑区会員の協力で、数多くあるうちの1つの豆を選び、それを子供が箸やスプーンで持てることや、その豆を原料に、どの製品になるかをクイズ形式であるものは、親子で一緒に食育を学ぶきっかけになった。	次の会場や日程等により内容等検討する。	
岩槻区保健センター	親子栄養教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:小学生とその保護者 7組16人	日程:8月1日(火) 場所:岩槻区役所保健センター 内容:「親子食育ラボ」食べ物を使った実験・試食、栄養士講話	アンケート結果より、参加者の満足度、理解度、実践度ともに高い結果であった。試食・体験実施に伴う安全管理に努めて実施できた。	キャンセルが発生したため、定員を検討する。未就学児向けの教室の要望もあり、幼児期向けの教室も検討する。	

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など									
		目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ		実績 (令和5年度)											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳		高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題				
岩槻区保健センター	親子運動教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:①小学生とその保護者、②3歳～未就学児とその保護者 ①11組28人 ②5組10人	日程:①5月14日(日)、②8月23日(水) 場所:①岩槻駅東口コミュニティセンター、②美園コミュニティセンター 内容:①「かけっこの達人」運動実技・講話、②「親子でストレッチ」運動実技・講話	アンケート結果より、参加者に満足度は8割以上で高かった。 ①の参加者には、男性も8人おり、若い世代へ啓発する機会となった。	②は、美園地区での初めての開催だったが、申込者が少なく、実施内容、時期を検討していく。		
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—					
岩槻区保健センター	やまぶきまつり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:保健センターブース来場者 358人	日程:10月22日(日) 場所:岩槻文化公園 内容:健康についての展示・リーフレットの配布、血圧測定、血管年齢測定(第一生命とのコラボ)、乳がん自己触診法体験(女性のみ)、パネルアンケートを用いた啓発	血圧測定を通じて、減塩や野菜摂取について啓発することができた。 パネルアンケートには、多くの来場者が回答し、他者の回答を見ることで啓発にもつながった。	血圧測定では、普段の血圧を把握していない区民もおり、健康への関心の低い層へのアプローチが引き続き必要である。		
協働—	(継続)	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○					
岩槻区保健センター	健康月間における普及啓発掲示	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:岩槻区役所来庁者	実施日:①6月 ②9月 ③10月 場所:岩槻区役所3階保健センター掲示ブース 内容:①第3次食育推進計画について(3食しっかり食べる)、②栄養バランス、野菜摂取、減塩、牛乳・乳製品の摂取について、③朝食摂取について 各内容について、来庁者向けにポスターを掲示、リーフレットの配布を実施	利用する区民の多い3階に情報を掲示することで、保健センター来庁者以外へも食育や健康づくりへの知識の普及啓発ができた。	引き続きテーマや内容を変えながら、来場者の目を引く展示内容を検討し、啓発を行っていく。		
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○					
岩槻区保健センター	おなかスッキリエクササイズ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:区内在住の18～64歳の方 託児各4人まで ①11人 ②6人	実施日:①6月2日(金)、②11月15日(水) 場所:岩槻区役所保健センター 内容:運動実技、健康についての講話(栄養・歯科・がん予防)	アンケート結果より、参加者の満足度・理解度は高かった。運動に関心が高い方や、リピーターの方が参加していた。	引き続き生活習慣病予防につながる事業、生活習慣改善のきっかけとなる事業を実施する。		
協働—	(新規)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○					
岩槻区保健センター	今日からできる!糖尿病予防レッスン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:市内在住の18～74歳の方 2日間1コース ①18人 ②16人	日程:①10月3日(火)、②10月6日(金) 場所:岩槻駅東口コミュニティセンター 内容:①保健師講話、歯科医師講話、体組成測定、②栄養士講話、運動実技	参加者は、70歳代前半が半数、女性が多かった。アンケート結果より満足度、理解度、実践度も高かった。健康について関心がある参加者が多かった。	申込み開始当初は参加者が集まらず、区役所内や公民館、特保利用者への電話等で周知を行い、定員を超えた参加があった。今後は周知のタイミングや方法について検討していく。		
協働—	(新規)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など						
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ						実績 (令和5年度)		成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容									
健康教育課 協働	地元シェフによる学校給食 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 児童生徒、教職員 30校	実施日:給食実施日 場所:市立小・中・特別支援学校 内容:地元のシェフと連携を回り、学校給食を実施	他の国の料理や地場産物の理解が深まり、児童生徒の食への関心が高まった。	・実施校は希望によるものなので、より多くの児童生徒が触れる機会が設けられるように検討していく。	
健康教育課 協働	地場産物の活用推進 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	①彩の国ふるさと学校給食月間の実施 対象:児童生徒 ②地元生産者との情報交換会 対象:大宮区・見沼区・中央区・南区の栄養教諭・学校栄養職員	①彩の国ふるさと学校給食月間の実施 実施日:11月 場所:市立小・中・中等・特別支援学校 内容:埼玉県産、さいたま市産の食材の使用 ②地元生産者との情報交換会 実施日:7月~8月(各区ごとに実施) 場所:大宮区役所・さいたま市役所 内容:地元生産者と栄養教諭・学校栄養職員との情報交換	①令和4年度の地場産物活用率は、28.5%であった。 ②地元生産者との情報交換を行うことで、さらなる地場産物の活用に繋がった。	本取組が、地場産物活用につながってはいるが、さらなる活用拡大のためには、今後も取組を継続していく必要がある。	
健康教育課 協働	学校教育ファーム (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:児童生徒、 教職員 小104校 中58校 中等1校 特支2校	場所:市立小・中・中等教育・特別支援学校 内容:農業体験活動	農業体験活動を通して、食物や生産者の方への感謝の気持ちを育むことができた。	授業時間の確保、学校への周知方法が課題である。	
健康教育課 協働	さいたま市学校給食衛生管理講習会 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校教職員、調理業務委託業者職員	実施日:令和4年8月22日から9月2日まで 内容:学校給食における衛生管理について、資料による研修を実施	学校給食の実態に合わせた内容なので、日々の調理業務における衛生管理について、それぞれ見直すことができた。	紙面では伝わりにくい内容もあるので、次年度は集合型研修を実施予定である。	
健康教育課 協働	さいたま市学校給食週間記念行事 (継続)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校教職員	実施日:令和5年1月17日(火) 場所:埼玉会館 内容:講演会	環境を配慮した取り組みや、学校における食育の大切さや学校給食の担う役割などについて理解を深められた。	対象者が、教職員、保護者、市民と幅広いため、感染症防止対策が課題で、展示等が出来ないことが課題である。	

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										対象ライフステージ					実績 (令和5年度)							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題			
健康教育課	研究委嘱事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校 教職員	場所:南区 大谷場東小学校(R2,R3,R4年度) 内容:市立小・中学校の研究指定校が食育の推進に取り組む、研究発表会を実施	市立学校における食育について理解を深め、学校における食育の推進を図ることができた。	より多くの教職員が研究発表会に参加できるよう周知を図る。	
健康教育課	生活習慣病予防学校検診 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	【校内継続指導】 肥満度20%以上の小1～小4・中1 【基本検査対象者】 肥満度35%以上の小4・中1 【個別指導対象者】 腹囲身長比0.5以上かつ肥満度35%以上の小1～小3	【校内継続指導】 実施日:4月～3月 内容:健康サポートクラブの実施 【基本検査】 実施日:7～11月(指定医療機関で実施) 内容:血圧測定、腹囲測定、血液検査、その他、診療情報作成 【個別指導】 実施日:10～11月(各地区ごとに実施) 内容:医師、栄養士による個別指導、集団指導	さいたま市は全国や埼玉県 の肥満傾向より低く、参加者 からも生活習慣を見直す前 向きな感想をいただいた。	受診率が年々減少傾向のため、参加希望者を増やす必要がある。	
健康教育課	さいたま市民の日給食 (学校給食統一献立) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校 児童生徒、教職員	実施日:令和4年4月25日(月)～4月28日(木)の統一期間 場所:市立小・中・中等教育・特別支援学校 内容:全校統一で市内産農産物を活用した料理を献立に取り入れる。 (令和4年度より「さいたま市民の日給食」として推進)	児童生徒に、郷土であるさい たま市の産物や食文化、食 に関わる歴史等に関心を持 たせるとともに、食を支える 方々への感謝の気持ちをほ ぐむことができた。	実施時期に給食で取り入れる ことができる農産物に限り がある。	
健康教育課	8020歯の健康教室 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:市立小学校(35校)の1年生～3年生と保護者	実施日:6月～12月 場所:各小学校 内容:歯科医師による講話、歯科衛生士による歯みがき指導(実習なし)	直接歯ブラシを口の中に入れ る歯みがき実習は引き続 き中止をしているが、それ 以外は例年どおしの実施とな った。給食後の歯みがきを中 止している学校の中には、こ の事業を機に、再開したと ころもあった。	暑い時期に実施する学校の 中には、熱中症の観点から オンラインでの実施を望む声 があったことから、実施時期 や形態を見直す必要がある と考える。	【補足】 市は、市社会福祉協議会に補助を行い、地区社会福祉協議会やボランティア団体などの協力団体が各地区の特色を活かして事業を実施している。
生涯学習振興課	「すくすくのびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーン (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+	対象:市立小・中・中等教育・特別支援学校全児童生徒(啓発リーフレット配布)	・「すくすくのびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーンの実施 ・啓発ポスター、リーフレットを作成・配布 ・市PTA協議会に啓発ポスター、リーフレットを送付 ・市報さいたま(8月号)で生活習慣向上の呼びかけ ・生活習慣向上に関連する講座等の講師リストの更新 ・幼稚園協会、保育園協会の理事会にて事業への協力を依頼	様々な手段を用い、児童生徒の生活習慣向上を保護者や学校、一般市民に広く周知・啓発することができた。	引き続きキャンペーンを実施し、学校・家庭・地域へ啓発していく。	
生涯学習総合センター(集計中)	各公民館事業(集計中) (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳+		PO～O 「令和5年度 公民館事業報告書」との とおり(集計中)			

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

Plan													Do		Check		取組の様子など							
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ						実績 (令和5年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
高齡福祉課 協働 ○	在宅高齢者等宅配食事サービス事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年期 65歳以上	対象: 食事の用意が困難な単身高齢者及び高齢者のみ世帯等 延べ64,273食 延べ4,552人	実施日: 週5日(祝日及び12月29日～1月3日を除く) 場所: 利用者の各家庭 内容: 単身高齢者及び高齢者のみ世帯等を対象に、ボランティア等地域資源を活用して、夕食を宅配する。	令和5年8月～10月に実施した利用者アンケートでは、食事を届けるボランティアの声掛けについて複数回答で尋ねたところ、回答者の約52%が「安心感がある」、約38%が「楽しみにしている」と回答しており、「もう少し会話があるといい」は約6%にとどまっている。食事の配達をきっかけとして、日々の生活の中での楽しみや、地域でのつながりを感じていただいているものと考えてい	左記のアンケートでは、食事「満足」の方が約46%であり、「満足」の割合が高いとは言えない。民間事業者による配食サービスが充実してきている中で、事業の位置づけを検討する必要がある。食事を届けるボランティアについて、65歳以上の方が中心となっ	
高齡福祉課 協働 ○	ふれあい会食サービス (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 年齢 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 年期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 年期 65歳以上	対象: 70歳以上のひとり暮らしの市民 実施回数: 386回 参加者数等: 延18,603人	実施日: 実施団体により異なる。 場所: 公民館等 内容: 70歳以上のひとり暮らしの方との交流を深めるため、ボランティアの協力により公民館等で会食を行う。	ボランティアの協力及び地域の社会資源の活用により、高齢者の孤独感の解消と健康維持に資することができた。	活動するボランティアの高齢化、対象者が会場に行く交通手段が限られていること、食料費が高騰しているなど、会食会運営にかかる協力団体の負担が高くなっている	【補足】 市は、市社会福祉協議会に補助を行い、地区社会福祉協議会やボランティア団体などの協力団体が各地区の特色を活かして事業を実施している。

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

		Plan										Do		Check		取組の様子など										
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ		実績 (令和5年度)			成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 学齢期 青年期 成人期 壮年期 高齢期	乳幼児 学齢期 青年期 成人期 壮年期 高齢期	乳幼児 学齢期 青年期 成人期 壮年期 高齢期	乳幼児 学齢期 青年期 成人期 壮年期 高齢期	乳幼児 学齢期 青年期 成人期 壮年期 高齢期	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	課題												
高砂小学校	絵本とのコラボ給食(ブックスランチャ)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 1070人 3回実施	実施日:令和5年11月(全3回) 場所:高砂小学校 内容:秋の読書週間に合わせて、学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。 使用した絵本(献立):ウツソースやきそば(セルフ焼きそば/パン)/おとうふ2ちょう(豆腐のサラダ)/にくのくに(すきやき風煮)	今年度は「食を楽しむ」ことをテーマに献立を選んだ。普段とは違った角度から食に親むききっかけになった。児童も食への意識を改めて認識することで食への意欲を高めている様子だった。	・喫食中にテレビ放送に集中するため、限られた給食の時間の中で適した絵本の選定が必要である。 ・よりよい給食指導につながるように、日報等を活用して事前に担任に詳しい情報提供しておく、より効果的である。	本校児童が日頃から苦手とする食材を扱った絵本を活用して、給食の時間に教員や図書委員会の児童が読み聞かせを行った。(事前にビデオ録画し、テレビ放送にて実施)		
協働	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
高砂小学校	児童考案の献立の実施(わたしの考えた献立)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:5・6年生児童 375人 10回実施	実施日:令和5年12月(全5回)、令和6年2月(全5回) 場所:高砂小学校 内容:家庭科の学習を活かし、給食週間の取組として5・6年生が献立作成に取り組み。その中から選んだ献立を給食で実施する。 2月24日(水)洋食屋さん風給食 2月25日(木)お祭り給食 3月8日(月)春の食材給食 3月9日(火)みんな大好き鬼滅給食	今年度は「食を楽しむ」ことをテーマに献立を選んだ。児童発信の献立のため、周りの児童や下級生の興味・関心が非常に高かった。	・食材の確保、価格、アレルギー対応などの条件があるため、選ばれた児童との打合せ時間が必要である。	給食週間の取り組みの一つとして、テレビ放送で選ばれた献立を発表した。その後、12・2月の給食で提供し、給食日より家庭にも情報提供を行った。献立を考えた児童だけではなく、給食を食べた全校児童も給食に向き合い、楽しむことができた。		
協働	(継続)	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
浦和別所小学校	体験活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 0人	実施日: 場所: 内容:					
協働	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦和別所小学校	児童が考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童・ 教職員 1280人	実施日:令和6年2月5日、2月8日、2月16日、2月22日、2月26日 場所:浦和別所小学校 内容:6年生が家庭科「くふうしよう おいしい食事」の授業で考えた献立を提供する。	全校児童が食べる給食ということを考慮し、テーマを決めて栄養価・旬・価格・彩りなどを考えながら献立を立てることができた。献立表や給食日より紹介し、児童だけでなく家庭の関心も高まるよう工夫した。	全校児童に6年生が考えた献立ということ伝えるために、児童自身に配布資料を作ってもらうなどの工夫をしていきたい。			
協働	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—
仲町小学校	野菜の皮むき等の体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:①2先生 あおぞら学級 230人 ②1年生 あおぞら学級 210人	実施日:①令和5年7月5日 ②令和5年12月11日 場所:各教室 内容:①「とうもろこしの皮むき」体験 ②「くわいの芽」とり体験	コロナ禍で体験学習を実施していなかったため、より一層取り組みへの興味・関心を高めることができた。また、給食の残食の低下にもつながることができた。	主に、低学年の実施となったが、可能な限り、全学年でさまざまな体験活動ができるようにしていく。			
協働	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仲町小学校	絵本とのコラボ「お話給食」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童 1300人	実施日:①令和5年11月6日 ②令和5年11月10日 場所:各教室 内容:図書委員会による絵本の読み聞かせの動画の配信と給食委員会によるコラボした給食の説明を行う。	絵本に出てきた食事と給食が同じ内容であったため、より食への興味・関心を広げることができた。また、珍しい献立でも「食べてみよう」という気持ちを高める結果となった。	絵本の内容と合わせてしまうと、栄養バランスの偏りが生じてしまうことがある。			
協働	(新規)	—	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

		Plan											Do		Check		取組の様子など							
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標					5つの「食べる」					対象ライフステージ						対象、実施回数・参加者数等	実績 (令和5年度) 実施日、場所、内容	成果	課題			
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ						資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理
大牧小学校	児童の考えた給食の提供 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全児童 538人	実施日:2/16(金)、2/26(月)、3/7(木)、3/14(木) 場所:各教室 内容:5・6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、5年生が夢のみそ汁、6年生が夢の給食を考えた。5年生1点、6年生3点の代表作品を給食で提供。	家庭科の学習と連携して、献立をたてることで、栄養のバランスの良い食事について理解が深まった。実際に給食に出るということは、児童にとって魅力的で生き生きと学習に取り組んでいた。各クラスの代表作品を掲示したところ、他学年児童から「おいしそう」「楽しんだ」などの声があった。	インフルエンザによる学級閉鎖のため、食べられないクラスがあった。时期的に致し方ない部分もあるが、流行のタイミングを見て実施時期を考える必要がある。	
中島小学校	図書コラボ給食 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 525人	内容:本に登場する食事の再現した給食メニューを提供し、「給食室からのお手紙」で本とメニューの紹介をした。 場所:中島小学校 実施日: 5月29日「魔法の宅急便」 6月15日「ライスボールみそ蔵と」 7月19日「給食室のいちにち」 9月7日「ベーコンわすれちゃだめよ!」 11月6日「ゆきざかなののりい」	食と図書への関心を双方向に高めることができた。	様々な本を短期間で実施し、図書室で紹介できる期間が短くなっていった。	写真:11月22日 「グラタンおばあさんとまほうのアヒル」 
中島小学校	教職員の出身地郷土料理 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 525人	内容:本校に勤める教職員の出身地の郷土料理を給食で提供し、「給食室からのお手紙」で土地事態や郷土料理の紹介をした。 場所:中島小学校 実施日:1月12日(大分県)、15日(青森県)、19日(フィリピン)、23日(秩父地方)、24日(福島県)、25日(北本市)、29日(愛知県)、30日(新潟県)	郷土料理を身近に感じさせ、各地の郷土料理について関心を深めることができた。	加工品を用いる機会が増え、塩分が高めになってしまった。 和食の頻度が高くなってしまった。	写真:1月30日 「新潟県:たしかつ井・のっぺい汁」 
大宮東小学校	とうもろこしの皮むき体験 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:2年生 109人	実施日:令和5年6月29日(木) 場所:各教室 内容:全校児童分のとうもろこしの皮をむく。その日の給食には皮をむいてもらったとうもろこしを出す。	楽しくとうもろこしの皮をむきながら、野菜への興味・関心を高めることができた。また、野菜を食べられるようにするまでの大変さを知り、給食のありがたみを実感することができた。 皮むきの様子を動画で全校に知らせることができた。	特になし	
大宮東小学校	お米の作り方(お米農家さんからの講話) (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:5年生 122人	実施日:令和5年6月12日(月) 場所:集会室 内容:学校にお米を納品してくださる「馬宮米部会」の方から、お米作りについての講話をしていただく。その後、給食を一緒に食べる。	身近な地域でも農業が行われていることを知り、お米作りの素晴らしさ、苦労を知る機会となり、社会科で学んだ米作りに対する理解もより深めることができた。 給食も馬宮米を使用し、偏食・好ききらいの多い学年だが、残さず食べる意識も高まった。	講話の最後に、なぜ国産のものにこだわるかという部分を栄養士から説明するところまで、より児童の学びが深まる内容も話したい。	
日進北小	小松菜の育て方と栄養 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:3年生 31人	実施日:1月31日(水) 場所:日進北小学校3年1組 内容:小松菜農家さんの仕事と小松菜の栄養について	直接、農家さんから小松菜づくりの苦労や大変さを聞いて、苦手な児童も食べようとする気持ちにつながった。		

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do			Check		取組の様子など						
		目標					5つの「食べる」						実績 (令和5年度)			成果	課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
泰平小学校	図書給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 677人	実施日:令和6年2月27日 場所:各教室 内容:図書の時間に読み聞かせした絵本に登場したメニューを食べる	前もって読み聞かせをしたことで、給食を楽しみにしていた。	絵本ではなく行事食などに関わる本だと日本の文化を感じることができる。	
協働—	(新規)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
鈴谷小学校	フルコース給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:6年生 82人	実施日:令和6年2月28日、29日、3月5日 場所:鈴谷小学校第1会議室 内容:テーブルマナーを守って食事をして、洋食の作法を学ぶ。メニュー:サラダ、バターロール、コーンスープ、ハンバーグ、プリン、紅茶	・子どもたちは、各学級で事前学習をしておくことで、洋食のマナーを、フルコースの料理を楽しみながら学ぶことができた。	・保護者の手伝い人数を確保するのが難しかった。	
協働—	(継続)	—	—	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
鈴谷小学校	児童が考えた給食の提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:鈴谷小学校全校児童 532人	実施日 令和6年2月19日から21日の3日間 場所:鈴谷小学校各教室 内容:外国の料理を給食に取り入れ、食の面から、食文化理解や国際理解、外国への関心を高める。	・子どもたちは、外国の料理について調べ、その国や料理に興味をもったり、いろいろな料理を進んで食べようという気持ちが高まったりした。	・子どもたちが食べやすいように、外国の料理の調理法をアレンジするのが難しかった。	
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—				
柏崎小学校	皮むき体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:1年・2年・3年・4年・特別支援学級児童 実施回数合計8回 145人	実施日:令和5年4月14日、7月3日、11日、14日 場所:各教室 内容:1年「そら豆の皮むき」、2年「グリーンピースのさやむき」、3年「枝豆のさやむき」、4年「とうもろこしの皮むき」	給食で実際に使用する食材に触れることで、旬の食材や農産物に対する関心が高まった。また、調理の一部を担うことで、食材や調理にかかわる人に対する感謝の気持ちをもつことへつながった。	温暖化により、農産物の収穫時期が本来の旬よりも前倒しになってきている傾向があり、どうしても実施時期を早めなくてはならない	どの学年の児童も、楽しそうに皮むき体験をしていた。食材や給食メニューへの興味・関心が高まっていた。
協働—	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—				
和土小学校	体験活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 83人	実施日:2023年5月12日(金) 6月16日(火) 7月14日(金) 場所:各教室 内容:2年 グリンピース鞘取り 3年 蚕豆の鞘取り 1年 とうもろこしの皮むき	児童が給食で使われる食材に触れ、食品や調理過程に興味を持ち、給食に提供することで、お手伝いの達成感を得ることができた。	旬の食材の生育状況をによって調達が難しい場合がある。地場産物を積極的に使用したい。	
協働○	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—				
和土小学校	給食週間行事	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象:全校児童 160人	実施日:2023年1月23日(火) 場所:教室 体育館 内容:給食調理員に感謝の手紙の贈呈 給食委員による食に関するクイズや劇 給食週間献立の実施	給食作りのビデオを視聴し、調理員さんへの手紙に取り組むことで、感謝の気持ちを表すことができた。給食委員によるクイズや劇で、楽しく食について学ぶことができた。	給食委員の児童の企画や練習に、適切に支援していきたい。	
協働○	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—				

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ						実績 (令和5年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児 0-5歳	学 齢期 6-15歳	青 年 期 16-24歳	成 人 期 25-39歳	壮 年 期 40-64歳	高 齢 期 65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
辻南小学校	郷土料理 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児 0-5歳	学 齢 期 6-15歳	青 年 期 16-24歳	成 人 期 25-39歳	壮 年 期 40-64歳	高 齢 期 65歳+	対象:全校児童 全教職員 535人	実施日:食育の日(毎月19日) 場所:各教室 内容:各県の郷土料理を提供 プリント配付(県の特徴、特産品、郷土料理など)	各県の特産品や食文化を紹介することで、食への興味関心が高まった。各地の食文化を知ることができた。	全国各地の料理を実施したいが、施設設備、人員により、提供する料理に制約がある。	
辻南小学校	児童が考えた給食の提供 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児 0-5歳	学 齢 期 6-15歳	青 年 期 16-24歳	成 人 期 25-39歳	壮 年 期 40-64歳	高 齢 期 65歳+	対象:全校児童 全教職員 535人	実施日:3学期給食最終日 場所:各教室 内容:給食週間の取り組みとして、3、4年生が「あったらしい給食」を考えた。児童の投票で選ばれた代表作品を給食で提供した。	児童が考案した献立を提供することにより、当日の給食を楽しみにしている児童が多く、喫食率も高かった。	児童が考えた献立を価格や調理作業などを考慮して、どこまで忠実に実施できるかが難しい。	
つばさ小学校	給食集会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児 0-5歳	学 齢 期 6-15歳	青 年 期 16-24歳	成 人 期 25-39歳	壮 年 期 40-64歳	高 齢 期 65歳+	対象:全校児童 911人	実施日:令和6年1月25日 場所:各教室 内容:給食委員による発表(TV放送) 給食標語学年代表の作品の発表 「えいようのうた」の発表	委員による発表で食への関心や大切さを気づかせることができた。「えいようのうた」でいろいろな食品を食べることのよさがわかった。	テレビ放送を見ながらの食事になってしまおう。	給食委員会で食育に関するテーマを分担し、(栄養について、マナーについて、豆知識についてなど)劇、紙芝居、クイズの形式で発表した。

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)											
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題								
大宮北中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 34人	実施日 1月26日 場所: 普通教室 内容: 保護者が給食を試食する。	コロナが明けて、久々に開催することができた。多くの保護者に参加していただき、本校の給食についてご理解いただけた。	思ったよりも多くの参加希望者が出て、給食に対する関心の高さがわかった。今年度、喜んでいただけたので、来年度も定番のメニューでご家庭でも取り入れていけそうなものを考えたい。	
協働 —	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	—					
大宮北中学校	生徒会朝礼「かぜをひかない体を食事から作ろう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 313人	実施日: 1月19日 場所: 各クラス教室(オンライン及び給食委員による指導) 内容: 給食委員主催の朝礼で、風邪予防のための食材や食生活等を紹介した。また、給食委員が考えた給食献立(栄養職員監修)を発表し2月の給食に取り入れるようにした。	旬の野菜などの食材を知ることができ、風邪やインフルエンザ対策にも役立つことが理解できた。さらに、SDGsの目標と関連させ、飢餓や栄養と給食に関する考えをもたせた。	給食週間に合わせての発表なので、より給食についてのアピールをしたい。	
協働 —	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—					
宮原中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 保護者 実施回数: 1回	実施日: 令和5年6月30日(金) 場所: 3年3組教室 内容: 学校給食を保護者に提供し、学校給食ができるまでについて栄養士より説明	普段の家庭料理ではない食材を献立に利用することで、保護者にとって新たな発見があった	本年度は保護者の役員のみの参加であったため、来年度以降は全体へ周知して参加ができるような手立てをつくりたい	試食会当日のメニュー ・ソイ丼 ・なめこ汁 ・いそか和え ・冷凍みかん ・牛乳
協働 ○	(継続)	—	○	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	—					
宮原中学校	給食の献立を考えよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 第2学年生徒	実施日: 令和5年7月 場所: 第2学年各教室(1~10組) 内容: 2年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	成長期に必要な栄養の特色を知ること、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった	栄養士より給食の留意点などの授業を受けることでより一層生徒がテーマに沿って考え作成でき、テーマを設定することで似通った献立が多くなってしまった	生徒が実際に作成し、給食に採用された献立 ・麦ごはん ・さんまのかば焼き ・ごま和え ・みそけんちん汁 ・みかん ・牛乳
協働 —	(継続)	—	○	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	—	—	—					
泰平中学校	つぼみの日給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 全校生徒・教職員 440人	実施日: 2024年10月31日 場所: 各教室 内容: 小中一貫教育つぼみの日に、学区内2校の小学校と共通の献立を実施した。	小中学校で共通の献立を食べることで、新入生を歓迎する気持ちを高めることができた。	配布物や給食時の放送で献立の意図や生徒への思いを伝えたが、より効果的な方法を検討したい。	
協働 —	(継続)	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—					
泰平中学校	1年生家庭科食事の計画	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0-5歳	学齢期 6-15歳	青年期 16-24歳	成人期 25-39歳	壮年期 40-64歳	高齢期 65歳+	対象: 1学年生徒 128名	実施日: 2024年10月 場所: 各教室 内容: 中学生の1日に必要な食事内容について学び、給食一食分の献立を作成する。作成した献立の中から、生徒の見本となる献立を給食に取り入れ、提供した。	生徒が作成した献立を実際の給食に取り入れることで、食に対する興味関心が高まった。	掲示物などを活用し、生徒が学習内容を振り返り、深める場面を作りたい。	
協働 —	(継続)	—	○	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan											Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」											実績 (令和5年度)		成果	課題								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ						対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容										
土屋中学校	2年家庭科 食事の計画	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:2学年生徒 165人	実施日:令和5年12月 場所:各教室 内容:中学生の1日に必要な食事内容を学び、献立作成をして、土屋中の生徒が喜ぶ栄養バランスのよい給食献立を考え、給食に取り入れる。	自分が考えた献立が給食に取り入れられる機会となったので、生徒の食に関する興味が高まった。小学校の時の給食や旬の野菜・果物、行事食など、食についての様々な観点から取り組めた。	毎日の献立を考えてくれる保護者や栄養士の方々への感謝に気持ちは高まったが、食事を残さないという意識まで繋げることはできなかった。	
協働—	(継続)	—	○	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	—					
土屋中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 41人	実施日:令和5年6月 場所:3年1組、2組教室 内容:給食への興味や関心を高め、給食の意義や給食の安全、給食指導についての理解を促す。	給食室での給食作成までの動画や、写真を説明したことにより、給食での衛生管理や安全性について伝えることができた。試食会のアンケートをすることにより、保護者の意見を聞くことができた。	給食試食会アンケートにより、生徒の実態(朝食欠食や、夜更かしなどによる生活リズムのみだれ)等を知ることができた。生徒の実態を踏まえ、今後給食指導に生かしていかなければならないと感じた。	
協働—	(新規)	—	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—					
岩槻中学校	調理員さんへの感謝の会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:給食委員 26人	実施日:2024年2月2日(金) 場所:岩槻中学校 内容:給食委員を中心に調理員さんへの感謝と手紙の作成	食を大切にする心や、感謝の心を育てるきっかけとなった。	生徒、調理員が関わりあう良い機会なので、全校生徒が参加できる機会をもてるよう検討していきたい。	
協働—	(継続)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—					
土呂中学校	ヨーロッパ野菜を取り入れた食育活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:全校 470人	実施日:①2023年9月～2024年3月 ②2024年1月13日(土) 場所:①学校教育ファーム ②体育館 内容:①特別支援学級によるヨーロッパ野菜の栽培及び収穫、収穫した野菜を用いた学校給食の提供及び給食委員会による啓蒙活動 ②ヨーロッパ野菜研究会の事務局の方を招いての講話	ヨーロッパ野菜に関する興味関心が高まり、講話によって郷土(さいたま市)に対する愛着や、生産者への敬意をもつことができた。	ヨーロッパ野菜栽培については3年間種が送られてくるが、栽培指導は初年度だけの為、教員が異動となった場合、経験が引き継がれるか不安である。	実施献立 【カリフローレ】→カリフローレサラダ 【カーボネロ】→ミネストローネ 【カーリノケール】→キーマカレー
協働—	(新規)	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—				実施当日は放送委員会による放送をした。また、講演会では給食委員会作成の掲示物を昇降口に掲示した。	
川通中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象: 200人	実施日:1月15日(月)～19日(金) 場所:川通中学校 内容:本に登場する料理を楽しもう!～ブックメニュー～ 料理が登場する5冊の本と料理を給食で紹介。給食委員と図書委員のコラボ活動として実施した。	「給食のおにいさん」という本に登場する、中に入っている野菜で占う「おみくじハンバーグ」や「しずかな日々」という本に登場する「おにいさんの大きなおにぎり」等、生徒が楽しみながら食べられる献立を実施することで、図書室で本を借りるきっかけを作ることができた。	給食週間が1月のため、感染症の流行や3年生の受験と重なり、毎年欠席の生徒が多いことが課題である。	
協働—	(継続)	—	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—					
浦和中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0-5歳	学齢期6-15歳	青年期16-24歳	成人期25-39歳	壮年期40-64歳	高齢期65歳+	対象:保護者 105人	実施日:令和5年 7月5日～7日 場所:浦和中学校 内容:学校給食を実際に食べてもらい理解を深めるとともに、家庭での食事のありかたなどを啓発する	コロナ開けで全学年保護者に対して行いことができた。とても好評であった。	学年ごとに日程を決めたので参加できない保護者もあったので、枠を広げてより多くの参加ができるようにしたい。	アンケートはPCを活用して集計している。
協働—	(継続)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	—	○	○	—					

さいたま市の食育取組状況 令和5年度実績

		Plan											Do		Check		取組の様子など							
担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	目標 5つの「食べる」					対象ライフステージ					実績 (令和5年度)		成果	課題									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青 年期 16～24歳	成 人期 25～39歳	壮 年期 40～64歳	高 齢期 65歳～	対象、実施回数・ 参加者数等			実施日、場所、内容								
浦和中学校 協働 —	家庭科・道徳 の授業と連 携した食育 の推進 (新規)	朝食 —	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 —	乳幼児期 0～5歳 —	学 齢期 6～15歳 ○	青 年期 16～24歳 —	成 人期 25～39歳 —	壮 年期 40～64歳 —	高 齢期 65歳～ —	対象:第1学年全 生徒 80人 対象:第3学年全 生徒 78人	実施日:令和5年7月・9月 場所:浦和中学校 内容:1年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。 内容:3年生の道徳の授業で、食べることで命をもらっているありがたさや感謝の気持ちを育む。	成長期に必要な栄養の特色を知ることで、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった。感謝の気持ちが高まった。	生徒はPCで、献立作成ソフトを活用しているが、細かな使用量と栄養価との差が大きいので食品群を目安にしている。 道徳の授業は初めて行ったが継続させたい。	令和5年12月～令和6年1月に8人分(8日)の献立を実際に給食に提供し、家庭にも給食日より報告した。